

ICTL スキルチェックテスト

次のうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけてください。

タイプ B

問 1

インターネット上では、実生活とは異なり、モラルとマナーは気にしなくても良い。

×

インターネット上においても実生活と同様です。モラルとマナーをもって行動することが大切です。

問 2

マイクロブログでは、匿名で投稿すれば、個人は絶対に特定されない。

×

マイクロブログでは匿名で投稿できますが、使い方によっては、個人情報もれて個人が特定される場合があります。また、自分の投稿が知らないところで広がり、思わぬ誤解を生むこともあります。実生活と同じように、モラルとマナーを持って行動することが大切です。

問 3

電子メールの送受信の際に、件名がきちんと入力されているかどうかを確かめてから送信する。

○

件名は、メールの内容が簡潔にわかるように書くとよいでしょう。件名が無記入だと、ウイルスがひそんだ悪質なメールに間違えられる可能性もあります。相手に迷惑をかけるためにも、きちんと件名を書きましょう。

問 4

電子メールを送信する際は、宛先に間違った相手が入っていないかを確認する。

○

電子メールを送信する際は、自分が本当に送りたい相手かどうかを確認し、送り先を間違えないように気をつける必要があります。

問 5

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用の際に、自分の個人情報の公開範囲を限定しないほうがよい。

×

SNS では、自分のプロフィールや発信する情報の公開範囲を、設定できます。どこで誰が見ているかわからないため、自分の名前や連絡先などは、信頼できる知人・友人のみに公開範囲を限定することが望ましいでしょう。

また、個人情報だけでなく近況報告なども、信頼できる知人・友人のみに公開範囲を限定する方が安全です。ただし、公開範囲を限定していても投稿した情報が漏れる場合があるため、投稿内容には気をつけましょう。SNS を利用する際は、少しでも安全性を高めるように注意することが大切です。実生活と同じように、モラルとマナーを持って投稿・発言する必要があります。

問 6

買った音楽 CD の音源を、インターネットで不特定多数の人がダウンロードできるようにするのは、法律違反である。

○

本来はお金を払われるべき著作物に対して、お金を支払わずに使用したり、他者に配付したりしているため違法にあたります。このような行為を取り締まる法律として、著作権法という法律が存在します。

問 7

マイクロブログとは、日々更新することのできる日記風の Web サイトで、字数制限なく長文を投稿できる。

×

マイクロブログとは、一度の投稿で 140 字程度の短い文章を書き込む簡易なブログです。思いついたことなどを気軽に発信するのに適しています。公開範囲を限定することもできます。マイクロブログのサービスとしては、「Twitter」などが知られています。一方、ブログは長文を投稿できる日記風の Web サイトで、基本的には不特定多数の人に公開されます。

問 8

SNS を利用すれば、遠方に住む友人とのコミュニケーションを容易に行うことができる。

○

お互いに承認し合って「友達」になると、SNS 上で連絡が取り合えて交流が容易になります。また、疎遠になってしまった友人が同じ SNS に登録していれば、その友人を見つけて、再び交流をはかるのにも便利です。

問 9

インターネット上に自分が発信した情報は、自分で完全に削除できるため、内容を深く考える必要はない。

×

インターネット上に一度掲載された情報は、後になって自分で削除しても他の人がすでに入手している場合があります、完全に削除するのは不可能だと思っておきましょう。また、発信内容は不特定多数の人に公開されます。自分の発言が他人に何らかの影響を与える可能性もあるため、軽率な発言はすべきではありません。自分や他人を傷つけるようながしてしまう有害サイトも存在します。発信する際は、実生活と同じように、注意深く行いましょう。

問 10

インターネット上に友人の写真と名前を掲載する際は、その友人に許可を取ってから掲載しなければならない。

○

友人の写真や名前を掲載する場合、プライバシーに配慮する必要があります。友人に事前了解をとらずに写真や名前などの個人情報を掲載すると、思わぬトラブルに発展することがあります。友人などの写真をインターネット上で公開したい場合は、自分の撮った写真でも、その写真に写っている相手全員に許可を得てからにしましょう。

問 11

文字の色や大きさが自由に変えられるため、誰に送るときでも、電子メールは HTML 形式で送る方が良い。

×

HTML 形式のメールは、レイアウトや文字の色・大きさ等が変えられるため、よりわかりやすく伝えることができます。一方、コンピュータウイルスが潜んでいたりする場合もあるため、HTML 形式のメールを受信拒否しているユーザも少なくありません。特にビジネスではその傾向が高いため、電子メールはテキスト形式で送信した方が安全です。

問 12

SNS とは、会員登録をしなくても、情報を自由に発信できるインターネットサービスである。

×

SNS とは、インターネット上で共通の趣味や話題を持つ者同士がコミュニケーションできる会員制サービスのことです。例えば、「Facebook」や「mixi」などが知られています。

問 13

インターネット上のあなたの書き込みが思わぬトラブルになった場合、一人で解決しようとせずに家族や公的機関に相談したほうがよい。

○

悪意のない場合でも、トラブルになる可能性があります。一人で抱え込まず、まずは家族や公的機関などに相談しましょう。

問 14

他者とコミュニケーションをとる際に、直接会う必要は無く、電子メール、マイクロブログまたは SNS だけ使えば良い。

×

電子メール、マイクロブログ、SNS などはコミュニケーションをとるには大変便利ですが、内容によっては真意がうまく伝わらないこともあります。相手との関係や内容に応じて、直接会って話す方が良いでしょう。状況に応じて使いわけることが大切です。

問 15

SNS では、友人の近況報告に対して、「いいね」などの評価ボタンを押したり、コメントを書き込んだりできる。

○

SNS では、人と人とのつながりを広げることを促すために、「いいね」などの評価ボタンを押したり、コメントを書き込んだりできます。